

47歳、4児の子育ち、その多様な使をしてしている父親です。常日頃子ども達には、失敗を恐れず、未知のことに勇敢に挑戦し、人生を存分に楽しんでほしいと願っています。

最近、読書に劣らず語彙(ごい)力向上に有効だと感じているのが、対話型AI、チャットGPTの活用です。先日、芥川賞受賞作家の九段理江さんが、このツールを使っていることが話題になりました。本を読むことで私を伝えてい

私がかつて経験をしなかつた経験を反省し、子ども達には本を読むことの大切さを伝えていきます。本を読むことで私達は自然と多くの言葉を知ることができま

す。本を読むことで初めて言葉を知ることができま

す。本を読むことで初めて言葉を知ることができま

す。本を読むことで初めて言葉を知ることができま

す。本を読むことで初めて言葉を知ることができま

います。言葉への強い好奇心を持つ私は、屋外の広告を読むことも好きで、声に出して読みたくなるフレーズに出会うと、その魅力に引き込まれます。5年前、上野で開催された正倉院展に向かう途中、新宿駅のプラットホームで目にした一言

気がさせてくれました。日本は現在、世界のどの時代においても、あまり経験を積んでいない、自然人口減少と高齢化を同時に経験している国です。それゆえ過去に頼り過ぎることなく、最適な解答を模索する必要が私達に

あります。私達の心をつまみしめた。「正解は過去、別解は未来。」この言葉は、多くの人が正解を追い求める中、変わるものがない絶対的な真理が存在する一方で、環境や社会が変化すれば、真の答えは別の解釈にあることを

正解は過去、別解は未来

飯田理一朗

「正解は過去、別解は未来。」この言葉は、多くの人が正解を追い求める中、変わるものがない絶対的な真理が存在する一方で、環境や社会が変化すれば、真の答えは別の解釈にあることを

気がさせてくれました。日本は現在、世界のどの時代においても、あまり経験を積んでいない、自然人口減少と高齢化を同時に経験している国です。それゆえ過去に頼り過ぎることなく、最適な解答を模索する必要が私達に

あります。私達は、日本において基本的な人権の一つが徐々に薄れつつあると強く懸念して

います。それは「失敗する権利」です。失敗は成功の母であり、失敗は人間の成長に欠かせないものでもありますが、誰かが分かっていないはずで

す。た

す。た

す。た

す。た

す。た

す。た

が、彼らの交流前日に、生徒達と引率の先生方を迎えしました。その際、高校の生徒達と引率の先生方の間のやり取りに深く感銘を受けました。

生徒達は自信を持って先生に相談して先生が正面から応えている。この信頼関係の根底にあるものは何なのか、興味を持ち、引率の三崎輝久先生にお尋ねしました。「先生の生徒への信頼はどこから来るのですか？」

三崎先生は過去にサッカー部監督として全国大会に出場された経験を話して下さいました。その経験を通じて、「生徒達に連れてきてもらった。生徒達のおかげで得られた貴重な経験に感謝し、彼らへの恩返しをした

い」という強い思いが、三崎先生の生徒を信じる原動力となっていることを知り

私は話を聞いていく中で、私達がすべきことは若者を信じていくことなのだと感じました。世代が異なれば視点や考え方も異なることは自然なことであり、それは時に私達の常識とは異なるかもしれませ

ん。それでも、若者を信じ、応援することの大切さを三崎先生から学ぶことができた。正解は過去、別解は未来。子ども達はより良い別解を導き出せるよう、私は子ども達を信じて、失敗を恐れず挑戦できる環境を作っていきます。

私自身は、生徒達の交流の場面には立ち会いませんでした

(原町中)